

2022 年度春セメスター BOOST プログラム

募集要項(ガイドライン)

申請募集期間	プログラム実施期間
4月13日(水)～4月22日(金) 16:30	5月11日(水)～8月27日(土)

立命館アジア太平洋大学 アカデミック・オフィス
第2版(2022年4月1日)

目次

1. BOOSTプログラムとは	1-1 プログラム概要と授業の特色 1-2 教育目標 1-3 科目名称、成績 1-4 履修登録および単位授与時期	P.2
2. 募集概要	2-1 全体のスケジュール 2-2 申請期間 2-3 申請要件 2-4 申請方法 2-5 申請期限 2-6 選考方法 2-7 選考期間 2-8 合否発表	P.3-4
3. 免責事項・注意事項	3-1 プログラムの中止や内容の変更 3-2 最終選考結果発表後の辞退について 3-3 個人情報の取扱いについて 3-4 履修免除について 3-5 受講姿勢および履修計画について	P.5
4. プログラム詳細	4-1 プログラムについて 4-2 授業形態および時間割 4-3 参加条件 4-4 費用 4-5 その他	P.6
5. プログラムに関する問い合わせ先		P.6

2. 募集概要

2-1 全体のスケジュール

2022 年度春 semester の本プログラムのスケジュールは以下のとおりです。

(状況によって一部日程が変更となる場合があります。その場合は事前に Campus Terminal へ案内を掲載するか、参加者へ直接メール等でお知らせします。)

2022 年 3 月下旬	プログラム広報開始
4 月 13 日～4 月 22 日	申請期間
4 月 24 日～5 月 10 日	審査
5 月 11 日 ～7 月 20 日	Part 1: 特殊講義(言語教育科目) ※水曜日は 4・5 限、土曜日は 3・4 限で実施 5 月: 11 日(水)、18 日(水)、21 日(土)、25 日(水) 6 月: 8 日(水)、11 日(土)、18 日(土)、22 日(水)、29 日(水) 7 月: 2 日(土)、6 日(水)、13 日(水)、16 日(土)、20 日(水) ※受講者には Part 1 の期間中に IELTS を受験することを強く推奨します。 なお、6 月 4 日(土)に APU キャンパス内で IELTS を実施予定です。
8 月 8 日～8 月 25 日	Part 2: 特殊講義(言語教育科目) (月～金の 1・2 限)
8 月 27 日	IELTS 受験
9 月 12 日	成績発表
9 月中旬	IELTS の結果に基づき必修英語科目の履修免除

2-2 申請期間

4 月 13 日(水) ～ 4 月 22 日(金) 16:30

2-3 申請要件

申請者は、以下の要件を全て満たしている必要があります。

- 2022 年度春 semester に英語準中級もしくは英語中級を受講していること。
- プログラムの趣旨・目的を理解し学習に対して高い意欲を持ち真摯に学習に励む学生であること。

2-4 申請方法

申請期間中に、オンラインサーベイを通じて申請手続きを行ってください。
下記リンクまたは右の QR コードより申請ページへアクセスしてください。

>>[BOOST オンライン申請サーベイ](#)



Web 申請には以下が必要です。

- 1) 志望理由の入力(英語で 100~200 単語程度)
- 2) 顔写真データ*

*顔写真のデータファイルは、以下のようにファイル名をつけた上でアップロードしてください。

(例: 11223344_APU Taro.jpg)

2-5 申請期限

2022 年 4 月 22 日(金) 16:30 まで

2-6 選考方法

オンライン申請サーベイの内容にもとづき第 1 次審査を行い、第 1 次審査通過者に対して面接による第 2 次審査を行います。

2-7 選考期間

- 以下の日程で面接を実施します。詳細は申請締切り後にキャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」にて連絡します。
- 面接を無断で欠席した場合は、申請の意思がないものとみなし申請を取り消します。

面接日(予定)

2022 年 5 月 4 日(水)

2-8 合否発表

2022 年 5 月 9 日(月)午後予定 *Campus Terminal を通じて発表します。

3. 免責事項・注意事項

3-1 プログラムの中止や内容の変更

- 本プログラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大やそれに伴う政府もしくは地方自治体の指示・要請、その他不可抗力に起因する事態が発生した場合、その他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。
- 受講態度や出席状況、書類や課題などの提出状況などを勘案し受講不適格と判断された場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加許可が取り消されることがあります。

3-2 合否発表後(最終選考結果発表後)の辞退について

- 大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後(合格発表後)に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者の授業内容に影響を与える場合があります。従って、プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退は認められません。
- 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。

3-3 個人情報の取扱いについて

プログラム参加に関わる調整・手続きを進める上で、また実際の交流場面で、第三者(プログラムに協力してくれるパートナー大学のプログラムコーディネータおよび授業補助学生)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、学籍番号、所属学部、学年、語学力があります。提供いただいた個人情報は、プログラム運営以外の目的では利用しません。

3-4 履修免除について(希望者のみ)

- 希望者はプログラム終了後に予定されている履修免除審査を受けることができます。
- 履修免除の基準については、学部履修ハンドブック p.77 および下記 Web ページを確認してください。
<https://www.apu.ac.jp/academic/page/content0289.html/?c=17>
- ただし、履修が免除された単位数分の科目については「言語教育科目および共通教養科目」分野で修得する必要があります。

3-5 受講姿勢および履修計画について

- プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講者自身の姿勢や努力が大きく左右します。積極的な学習姿勢を持つことが必要であり、各自でプログラムの受講目的をしっかりと定めてください。
- 本プログラムの参加期間が、私用、正課の講義・補講や定期試験・追試験・履修科目登録期間、各種言語検定などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ、学年暦、自分のスケジュール、プログラムのスケジュールを確認してください。また本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありません。自己の責任において、プログラムへの応募を行ってください。

4. プログラム詳細

4-1 プログラムについて（※授業内容の詳細はシラバスを参照してください。）

- 授業は全て英語で行われます。
- 春semesterの5月から7月にかけて通常の「英語準中級」もしくは「英語中級」を受講しながら「特殊講義(言語教育科目)」(2単位)を同時に受講し(Part 1)、また8月には3週間の集中講義形式で「特殊講義(言語教育科目)」(2単位)を受講します(Part 2)。
- Part 1と2はセットであり、どちらかのみを受講することはできません。Part 1の期間中で外部試験のスコアが目標値に達した場合であってもPart 2を受けないという選択は認められません。
- プログラム期間中に指定基準以上のIELTSスコアを取得できた場合、「英語中級」ないし「英語準上級」の履修免除を申請することができます。

担当教員	募集人数(各レベル)	単位数
シラバスを参照してください。	定員:最大 25 名 (最小実施人数:5 名)	計 4 単位 (2 単位×2 科目)

4-2 授業形態および時間割

- Part1は対面のみ、Part2はオンラインのみで実施予定です。
※授業形態は新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。
- Part 1の土曜日の授業は補講日の時間割を採用します。(水曜日は通常時間割。)
- Part 2の授業は、セッション期間の時間割を採用します。

4-3 参加条件(下記の全てを満たす者)

- 2022年度春semesterに英語準中級もしくは英語中級を受講していること。
- プログラムの審査に合格すること。
- 対面・オンラインどちらでも参加が可能な者。

4-4 費用

プログラム費
無し

※ただし、シラバスで指定されるテキストの購入費、およびIELTSの受験費用(期間中に最低2回)は受講生負担となります。

4-5 その他

クラス運営に関わって、当プログラムのシラバスに特別記載の無い点であっても通常の英語クラスと同じルールが適用されます。受講中のシラバス含めよく確認の上で受講をしてください。

5. プログラムに関する問い合わせ先

- ・ アカデミック・オフィス
- ・ TEL 0977-78-1101 / Email: cleac@apu.ac.jp
- ・ 担当者: アカデミック・オフィス BOOST プログラム担当